WAKAYAMA WORKERS' UNION
組合ＮＥＷＳ
２０２６年９月２４日(木)
第　１５４２９号
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

組合LINE　組合HP

代表内線番号　和歌山地区本部　543590
堺地区　652990/海南地区　545555

日本製鉄労連
「第１７回定期大会」報告

日本製鉄労連の「第１７回定期大会」が９月９日（水）に、リーガロイヤルホテル広島で開催され、和歌山労組から８名の代議員が参加しました。

大会議案である第１号議案「第８期後半年度活動方針（案）」の審議では、１８の単組から原案賛成の立場で力強い補強意見が出されました。和歌山労組からも中野執行委員が「死亡災害の撲滅と安全に強い人と職場環境の構築」「魅力ある労働諸条件づくりと多様な人材の活力発揮」といった重要テーマについて意見を述べました。

審議の結果、第１号議案をはじめ、第２号議案「規約・規程の一部改訂について（案）」第３号議案「２０２７年度諸会計予算（案）」第４号議案「器具備品の処分について（案）」の全議案が満場一致で可決され、日本製鉄労連として、第８期後半年度の活動へ向けて新たなスタートを切りました。



定期大会の様子

幸野会長挨拶（要旨）


幸野会長

＜安全活動について＞

今年に入り、連合会全体で休業以上の災害が１２件発生しており、その内訳は日本製鉄が死亡災害１件を含めて９件、Ｃ＆Ｍが２件、エンジニアリングが１件となっている。昨年同時期の災害発生件数は２３件で件数としては半減している状況であるが、あってはならない死亡災害を発生させたことは痛恨の極みである。統合以降の１５年間で４１名もの尊い命が失われていることを肝に銘じ、何としても死亡災害、重篤災害を撲滅すべく、基本ルールをはじめとするルール遵守やＴＢＭ、ＫＹ、相互注意など作業の基本となる行動を愚直に繰り返し実践する職場風土の構築に向け、職場への喚起をお願いする。

＜経営対策の取り組みについて＞

本年４月より「２０３０中長期経営計画」がスタートし、圧倒的な国内一強体制を目指すことで「１億ｔ・１兆円」の将来ビジョンを現実のものとし世界Ｎｏ．１鉄鋼メーカーの復権を果たすとしている。世界的な保護貿易や中国の過剰生産、地政学リスクなど厳しい事業環境が当面続くと予想される中、国内製鉄事業も原油や天然ガス等のエネルギー価格の上昇、円安の進行などの環境悪化により収益悪化が見込まれている。このような環境下でも、国内においては製造実力・コスト競争力を他社に比べ如何に強くしていくか、そして「安全」「安定生産」を継続することが、自分たちの職場を将来にわたり残していくための必須条件となる。組合員

一人ひとりが日々研鑽を重ね、現場の知恵と工夫が発揮できる人材が育ち、技能伝承とともに継続した生産性向上につながる。そうした好循環を生む職場風土構築に向けた組合員の奮闘に期待する。

＜ＡＰ２７春季取り組み＞

今年の春季交渉を振り返ると、示された回答は「基本賃金の改善（１万円）」「交替勤務の休日３日増」をはじめとするものであった。一部に残念な思いはあったものの、厳しい事業環境が続く中で、会社として対応し得る「最大限の人への投資」として受け止められる回答と評価し、妥結した。

来年のＡＰ２７春季取り組みは個別賃金改善年度であり、単年度の基本賃金改善をベースに要求を検討していく。「金属産業トップクラスの賃金水準の維持・向上」「人材の確保・定着」と「一人ひとりの活力発揮」が、労使共有の重要課題であり、そのことを念頭におきつつ、物価等の取り巻く環境はもとより、他産別の動向を注視しながら、具体要求を検討し、納得できる回答の引き出しに向け、全力で取り組む決意である。あわせてグループ・関連組合の格差改善・底上げにも引き続き、連合会としての役割を発揮していく。

＜経営施策に伴う連合会組織のあり方＞

来年４月に山陽特殊製鋼が日本製鉄と統合し「瀬戸内製鉄所山陽地区」となる。それに伴い、山陽特殊製鋼の従業員が日本製鉄の社員となるため、連合会への加盟に向けた具体的な検討を両組織で加速していく。また、旧日立造船のカナデビア㈱と日鉄エンジニアリング㈱の経営統合に向けた検討も進められており、９月に最終契約締結の予定となっている。会社の検討内容を踏まえながら、エンジニアリング労組とも連携し、統合の際には連合会組織として、どのような対応が将来を見据えてベストなのか、議論を深めていく。

その他にも、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みや、組織・教宣活動の充実、男女共同参画の推進、３年後となる村田議員の選挙を見据えた政策実現活動など、取り組むべき課題は山積している。各単組と連携を密にしながら、一つひとつの課題を着実に前進させ「日鉄でよかった」と誰もが実感できるビジョン実現に向け、全力を傾注する。

引き続き、各単組・組合員の皆さんのご支援・ご協力をお願いし挨拶とする。

ご安全に！



がんばろう三唱

第８期後半年度活動方針（案）に対する和歌山労組の補強意見


中野執行委員

ご安全に！和歌山労組代議員の中野です。
連合会第８期後半年度活動方針（案）に対し原案賛成の立場を明確にしたうえで、補強意見を申し述べる。

まずは「死亡災害の撲滅と安全に強い人と職場の構築」についてである。和歌山労組は、労働組合の最優先課題である「安全と健康の確保」に向け、労使・直協連携のもと各種安全啓発活動を展開している。しかしながら、今年は関西製鉄所和歌山地区、大阪地区（堺）において、休業災害が１件、不休災害が１２件発生しており、特に３月に発生した休業災害の背景にあった「安全帯未着用の常態化」という事実は、決して見過ごしてはならない大きな問題として受け止めている。和歌山労組としては、作業者同士が躊躇なく注意し合える「規律ある風通しの良い職場環境の構築」を急務とし、労使・直協一丸となって、働く仲間を守るべく、より一層踏み込んだ安全活動を展開していく所存である。
連合会におかれても、安全に強い人づくりに向けて「個々人の意識・感性」を高める取り組みや「職場の固有リスク」に着目した安全教育など、会社に対するソフト面の対策強化に向けた積極的な意見提言をお願いする。

次に「魅力ある労働諸条件づくりと多様な人材の活力発揮」についてである。
ＡＰ２６春季取り組みにおいて、物価上昇を上回る実質賃金の維持が図られたことや、２７年ぶりとなる交替勤務者の休日増が示されたことは、現場第一線で働く組合員にとって「やりがい」や「働きがい」につながるものと受け止めている。しかしながら、想定を超える昨今の物価上昇は、依然として組合員の生活に大きな影響を与え続けているのが実態であることから、連合会におかれては、個別改善年度となるＡＰ２７春季取り組みにおいても、組合員の生活の安心・安定と将来にわたる優秀な人材の確保・定着を図るべく、引き続き強いリーダーシップの発揮により製造業トップクラスの賃金水準の維持・向上に向けた取り組みをお願いする。また「ワーク・ライフ・バランスの実現と多様な人材の活力発揮」については、交替勤務者の休日が増えたことで、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みは、着実に進んでいると認識している。しかしながら、タイトな人員状況の中では年休や育休等の取得による欠員への対応に直結していることも事実であり、こうした課題を解決するためにも、連合会におかれては、現在試行中の交替勤務における欠補対応について、各単組との連携のもとこれまで以上に現場実態を的確に把握し、より実効ある施策へと深化を図っていただくようお願いする。

最後に、基幹労連は「村田きょうこ」参議院議員の再選を特別重点活動と位置づけており、和歌山労組としても重要課題の一つと捉えている。「村田きょうこ」議員の必勝に向けては、国会での活躍や実績を広く組合員に伝え、これまで以上の得票数を目指し組織内議員の必要性への理解を深める取り組みをさらに強化していく所存である。
いずれにしても、後半年度も連合会の掲げる方針、そして労働政策ビジョンに掲げる「日鉄でよかった」と実感できる職場の実現に向け、和歌山労組の総力を挙げて取り組むことをこの場でお誓い申し上げ、第８期後半年度活動方針（案）に対する補強意見とする。

以　上

基幹労連「第２４回定期中間大会」報告


津村中央執行委員長

去る９月１０日（木）から１１日（金）にかけて、基幹労連「第２４回定期中間大会」が広島国際会議場で開催されました。冒頭、基幹労連の津村中央執行委員長から「取り巻く環境について」「労働政策について」「組織内議員村田きょうこ参議院議員の再選に向けた取り組みについて」 等について挨拶があり、その中で「ＡＰ２７春季取り組みに向けて、格差改善も含めた産別方針の前広な提示に基づく議論を重ね、理解と納得を深めたうえで、産別・部門・部会でまとまりをもって取り組んでいかなければならない。生産性運動三原則、とりわけ成果の公正な分配、実質賃金の維持・向上のための継続した賃金改善の観点から、ＡＰ２７春季取り組みに向けた議論を進めて行く」と述べられました。また「村田きょうこ」参議院議員と「郡山りょう」参議院議員からも挨拶があり、日頃の支援に対する感謝とともに、これまでの活動成果や今後の課題について力強い決意が述べられました。

審議事項では、日本製鉄労連を含む多くの加盟組合から本部原案に賛成の立場で意見・要望の発言があり「第１３期後半年活動方針に関する件」をはじめとする全ての議案が承認されました。



村田きょうこ議員

日本製鉄和歌山労働組合
「第１４回定期大会」開催のお知らせ

開催日時：１０月９日（金）１６：００
場　　所：日本製鉄和歌山労働組合　組合会館２階　大会議室

議案内容：〈報告事項〉一般経過報告・２０２６年度会計決算並びに会計監査報告・組合規程の一部改訂
〈審議事項〉第１号議案　第５５期後半年度活動方針に関する件（案）
第２号議案　２０２７年度会計予算に関する件（案）
第３号議案　組合規約の一部改正に関する件（案）

※「第１４回定期大会」の開催に伴い、下記の通り大会関係者以外の組合会館前の駐車場を駐車禁止します。ご理解とご協力をお願いします。
【日時】：１０月８日（水）１７：００～　【対象場所】：組合会館前駐車場（全面）

清末議員相談窓口　１０月スケジュール



清末議員相談窓口の、１０月のスケジュールが決定しました。
１０月　７日（水）　１７：００～１８：００　組合会館
１０月１４日（水）　１７：００～１８：００　組合会館
１０月２１日（水）　１７：００～１８：００　海南組合事務所

１１月以降の日程につきましては、組合ニュースで改めて告知します。

